

# 四 国 銀 行

ミニディスクロージャー誌

第200期営業の中間ご報告

平成25年4月1日～平成25年9月30日



MINI DISCLOSURE 2013

皆さまには、平素より四国銀行グループに格別のご支援、お引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

このたび、当行では、皆さまに一層のご愛顧を賜りたく「ミニディスクロージャー誌第200期営業の中間ご報告」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

さて、当中間期において、国内景気は輸出環境や消費者マインド改善などの持ち直しの動きが続くなど、デフレ経済からの脱却に向けた兆しが見られる中、2020年夏季五輪の開催都市が東京に決定するという明るいニュースにつつまれました。一方、地域経済を取り巻く環境は、人口の減少や加速する高齢化などを背景に、依然として厳しい状況が続いており、地域金融機関には地域経済の活性化に向けた取組みの一層の強化が求められていると認識しております。

このような中、当行では、地域経済の活性化に向け、本年4月からスタートした新たな中期経営計画「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦 ステップ1」におきまして、お客さまのライフステージに応じたソリューション提供の強化、成長分野などへの新規融資の取組み促進、コンサルティング機能の発揮による中小企業の経営改善支援の強化、地方公共団体との連携強化などの個別戦略を推し進めております。

地域金融機関の使命は、地域の発展に貢献し、地域とともに成長することにあります。私ども四国銀行グループの役職員はこの基本的な考え方を共有し、「真っ先に相談され、地域の発展に貢献する ベスト リライアブル・バンク」の実現に向けて着実な歩みを続けてまいります。

引き続き一層のご支援ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



取締役頭取

野村直史

## ● 経営理念

**企業使命** 地域の金融ニーズに応え、社会の発展に貢献します。

**経営方針** 企業倫理に徹し、健全な経営を行います。

**行動規範** お客さまを大切にし、社会的責任を持った行動をします。

## 目標とする銀行像

「信頼される銀行」「健全な銀行」  
「活気ある銀行」として、  
地域・お客さま・株主・従業員から  
支持される銀行を目指します。

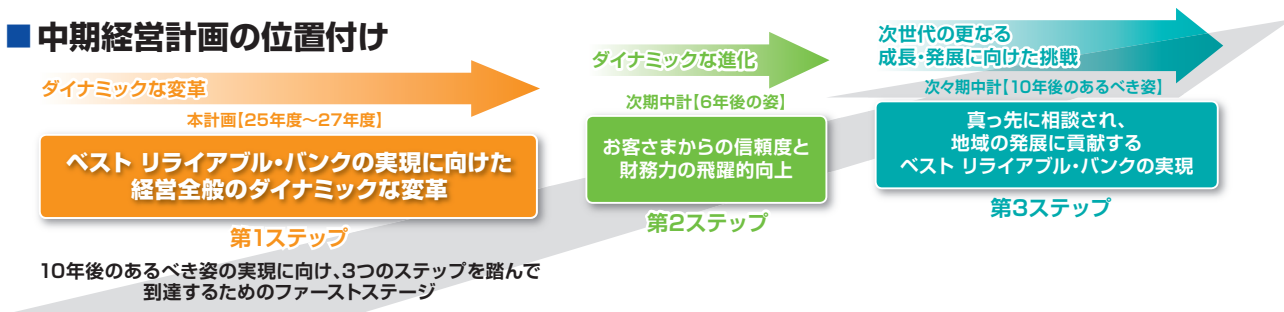
# 中期経営計画

当行は、10年後のあるべき姿の実現に向け、平成25年4月から平成28年3月まで3カ年の中期経営計画「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦 ステップ1」を策定し、各施策を推進しております。

## ■ 10年後のあるべき姿（長期ビジョン）

真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベスト リライアブル・バンク

### ■ 中期経営計画の位置付け



### ■ 中期経営計画の概要

名称  
「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦 ステップ1」  
～真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベスト リライアブル・バンクの実現を目指して～

【戦略目標の体系図】  
地域、お客さま、株主、従業員から支持され続ける銀行

計画期間  
平成25年4月～平成28年3月

戦略目標  
ビジョン 真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベスト リライアブル・バンクの実現

戦略目標Ⅰ 組織をダイナミックに変える  
戦略目標Ⅱ ヒトと意識をダイナミックに変える  
戦略目標Ⅲ 高い金融サービス力の発揮  
戦略目標Ⅳ 財務力の向上

数値目標(平成28年3月期)

項目	数値目標
コア業務純益	105億円以上
コアOHR	71%未満
与信コスト率	0.3%以下
不良債権比率	4%台前半
コア資本比率(※)	10%以上

戦略目標Ⅰ 組織をダイナミックに変える  
【目指すもの】競争に打ち勝つ経営インフラの確立  
【3年間で成し遂げるべきこと】営業チャネルの改革(第1段階)競争力と機動力の高い営業店支援態勢の実現ノンコアビジネスの抜本的改革

戦略目標Ⅱ ヒトと意識をダイナミックに変える  
【目指すもの】10年後を見据えた人財の質・量の確保  
【3年間で成し遂げるべきこと】次世代人財の育成モチベーション向上による組織活性化戦略全体のPDCAが回る仕組みづくり

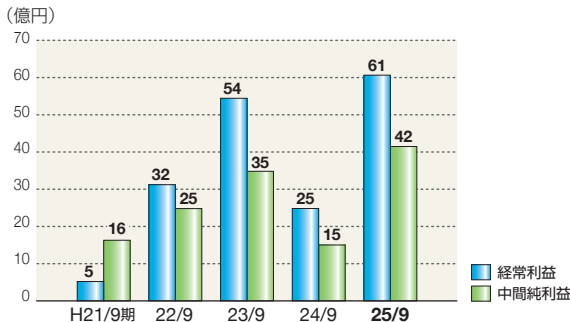
戦略目標Ⅲ 高い金融サービス力の発揮  
【目指すもの】お客さまからの信頼度の向上による高知県内での圧倒的な地位の確立、県外でのスーパーサブ化  
【3年間で成し遂げるべきこと】法人取引規模拡大の実現個人取引規模拡大の実現企業活力、地域活力向上への貢献

戦略目標Ⅳ 財務力の向上  
【目指すもの】地域の信頼に応え得る財務力の確立  
【3年間で成し遂げるべきこと】収益性・効率性の向上健全性の向上

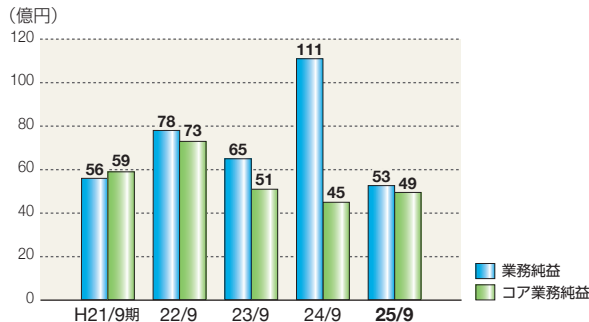
※経過措置適用ベース

損益につきましては、業績の向上と経営の効率化に努めました結果、  
 経常利益は61億23百万円、中間純利益は42億6百万円となりました。

## ● 経常利益と当期純利益

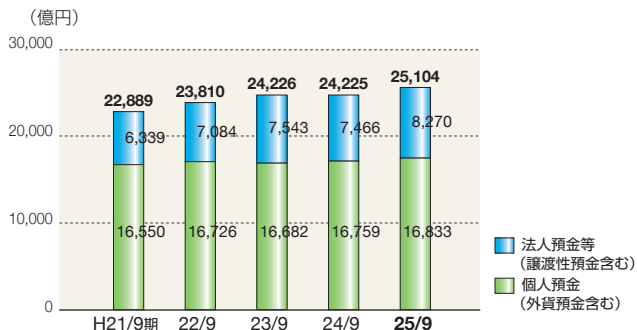


## ● 業務純益とコア業務純益

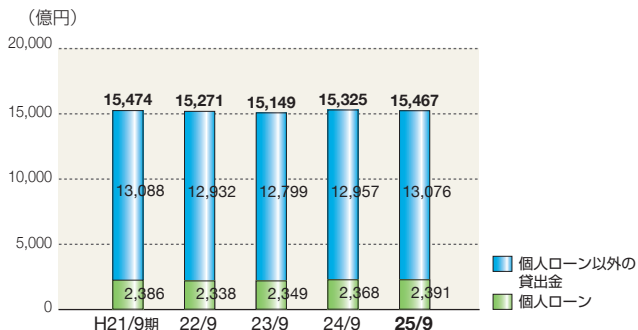


※コア業務純益とは…業務純益から国債等債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を除いたものです。

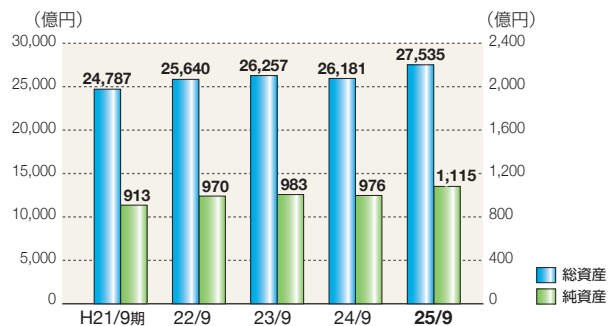
## ● 総預金と個人預金



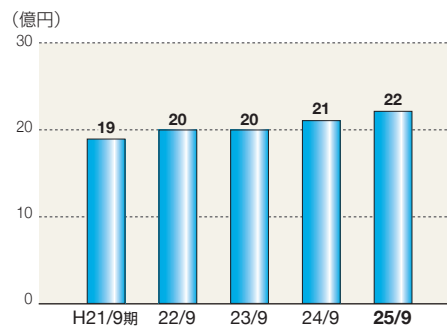
## ● 貸出金と個人ローン



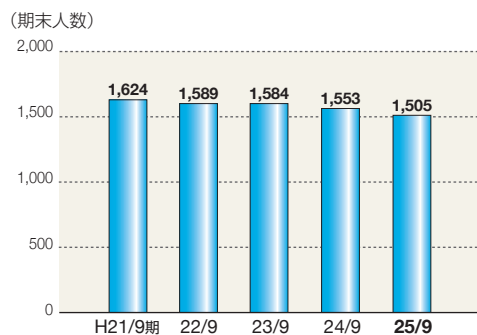
● 総資産額と純資産額



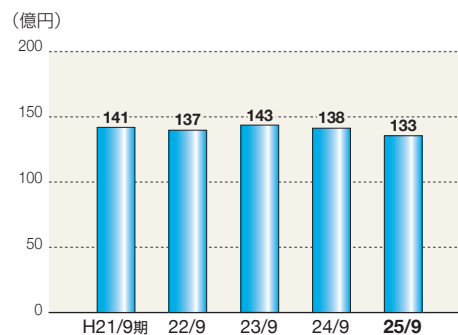
● 役員取引等利益



● 従業員数

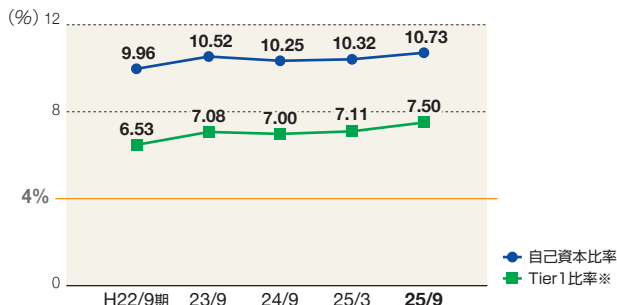


● 営業経費



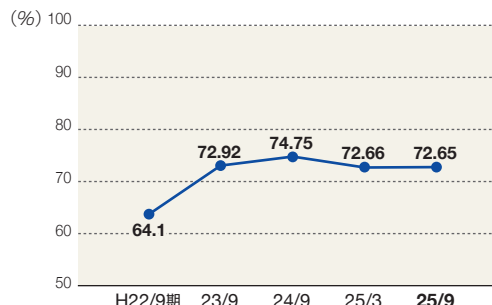
当行の取組み方針や業績、格付などをご理解いただき、  
これからも安心してお付き合いください。

### ● 自己資本比率（国内基準）



※Tier1比率は銀行の本質的な健全性を示すものです。

### ● OHR（コアベース）



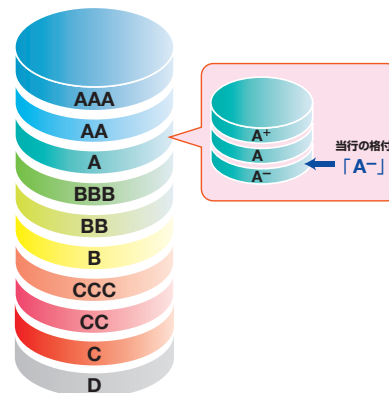
※OHR(コアベース)とは…業務粗利益から国債等債券関係損益を除外したものであるものに対する経費の割合です。

### ● 格付について

「格付」は企業の信用度や債務履行の確実性などを簡素な記号で表わしたものです。格付機関により企業の財務内容や収益力が総合的に判断されます。当行は日本格付研究所から格付「A<sup>-</sup>」を取得しております。長期格付「A<sup>-</sup>」は「債務履行の確実性は高い」とされており、健全な銀行としての評価を得ております。

AAA	債務履行の確実性が最も高い。
AA	債務履行の確実性は非常に高い。
<b>A</b>	<b>債務履行の確実性は高い。</b>
BBB	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来、債務履行の確実性が低下する可能性がある。
BB	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
B	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
CC	債務不履行に陥る危険性が高い。
C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
D	債務不履行に陥っている。

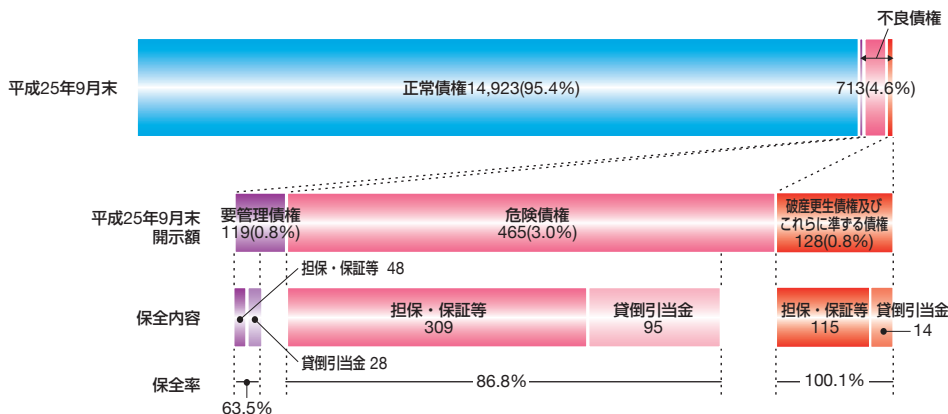
AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス(+)もしくはマイナス(-)の符号による区分があります。



# 不良債権の状況

貸倒引当金及び担保等による保全率(金融再生法ベース)は平成25年9月末85.3%と十分な水準を確保しています。

● 金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況 (単位：億円) ※四捨五入で表示しています。



## 用語解説

### ● 正常債権

「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権です。

### ● 要管理債権

「要管理債権」とは、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」に含まれない3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

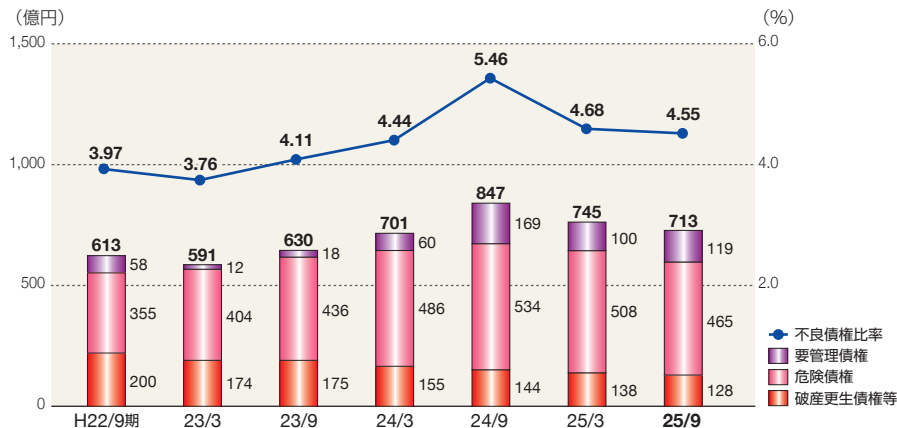
### ● 危険債権

「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。

### ● 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

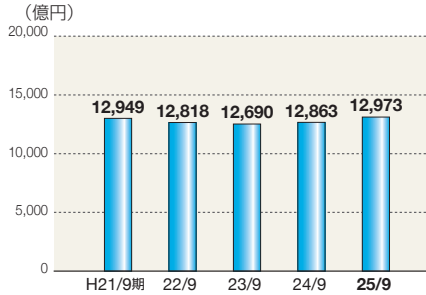
● 金融再生法開示不良債権と不良債権比率 ※金額については四捨五入で表示しています。



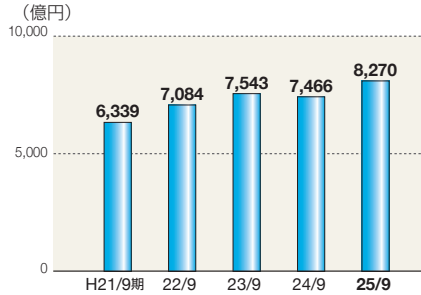
## 地域の皆さまとともに

地域のお客さまに対し、ご融資や私募債のお引き受けなどを通じ、円滑な資金提供に努めています。

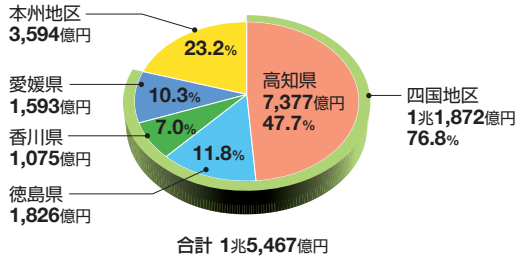
### ● 法人等貸出金



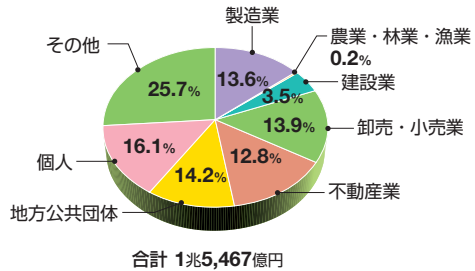
### ● 法人預金等（譲渡性預金含む）



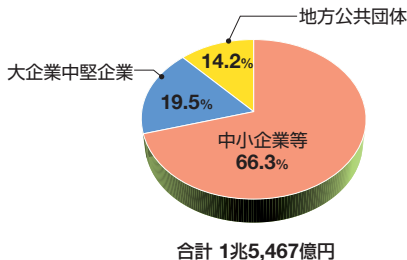
### ● 地域別貸出金残高（平成25年9月末）



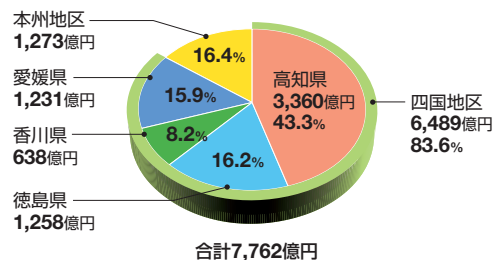
### ● 業種別貸出状況（平成25年9月末）



### ● 中小企業等貸出金の割合（平成25年9月末）



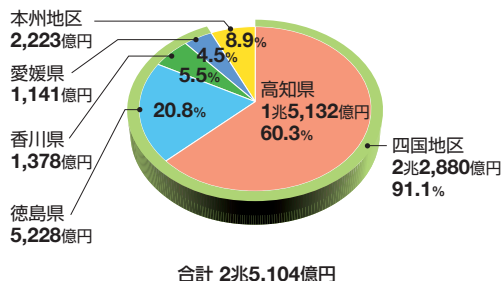
### ● 地域別中小企業向け貸出金（平成25年9月末）



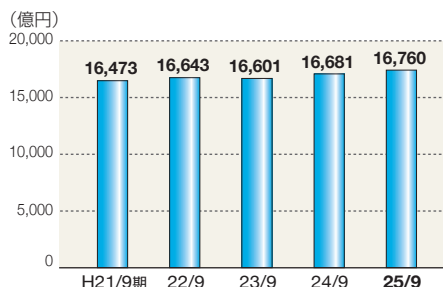


多様化するお客さまのニーズにお応えし、さまざまな資産運用商品を取りそろえるとともに、それぞれのライフプランニングのお役に立てる商品・サービスの充実に努めています。

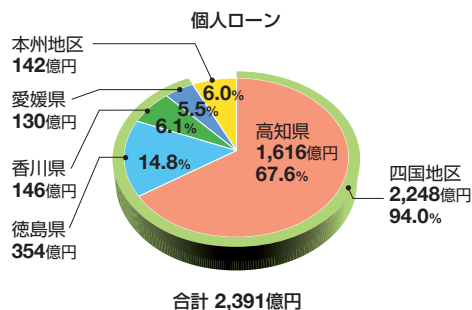
● 地域別預金等残高 (平成25年9月末)



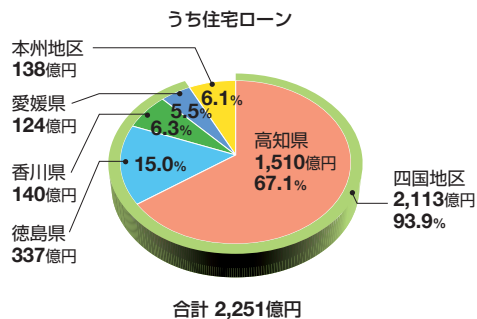
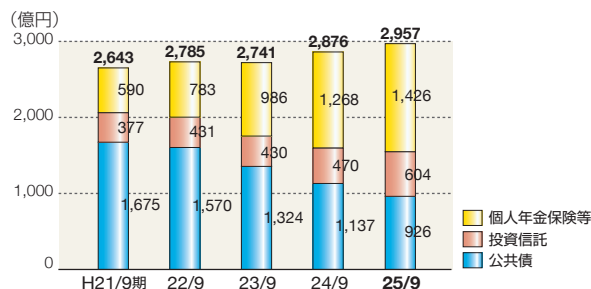
● 円貨個人預金の推移



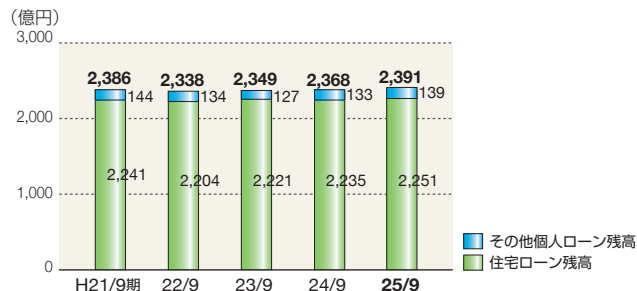
● 地域別個人ローンの状況 (平成25年9月末)



● 個人預り資産



● 個人ローン



当行は、長期的・安定的な金融仲介機能、コンサルティング機能の提供を通じて地域経済の活性化へ貢献していくことが、地域金融機関の使命と考えております。

本年4月からスタートした中期経営計画「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦 ステップ1」においても、「コンサルティング機能の発揮」「地域の面的再生への積極的な参画」「積極的な情報発信」を積極的に推進し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

### ●新エネルギーや節電・防災対策への取組み

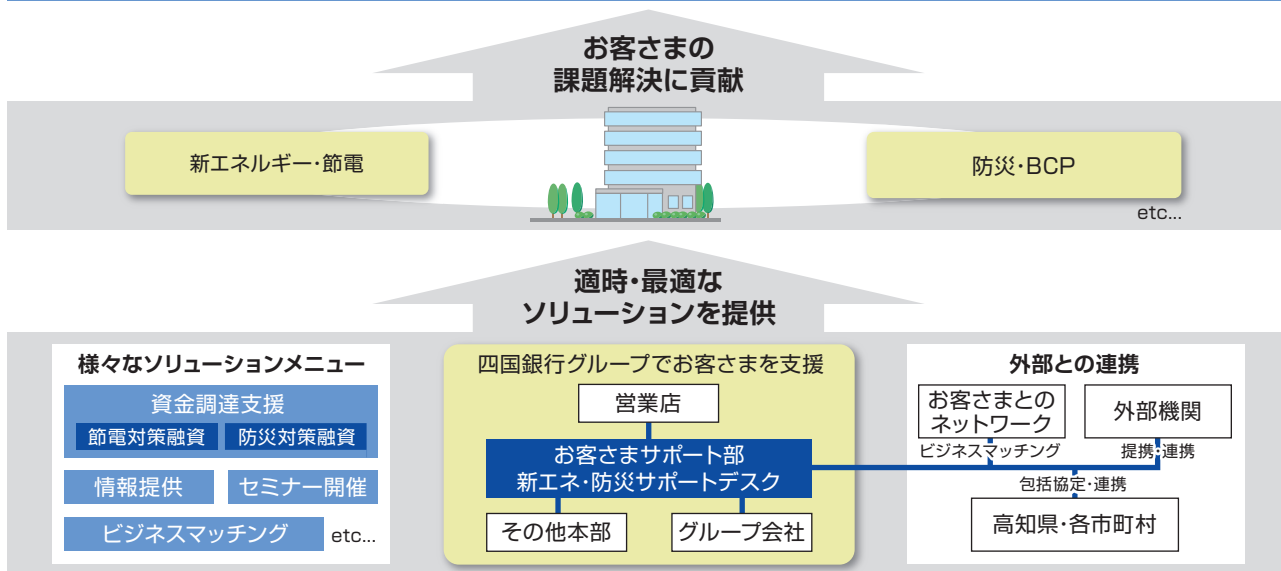
お客さまサポート部内に「新エネ・防災サポートデスク」を設置しております。

新産業・新市場創出の成長戦略に掲げられている「新エネルギー」、東日本大震災以降、地域の喫緊の課題となっている「防災対策」、緊急事態が起こった時の事業の早期復旧や継続のための「BCP（事業継続計画）の策定」、電力の需給ギャップに配慮した「節電や省エネ」へのお客さまの取組みをサポートします。

新エネルギー分野では、高知県内2ヵ所で開催されている大型木質バイオマス発電の事業化に向けた支援を行い、地域の環境保全にもつながる新産業の創出を目指しております。

当行は、高知県と連携し、官民一体となって「新エネルギーの推進」「防災対策の支援」「防災産業の振興」を図り、地域の幅広いご相談にお応えします。

## 地域産業の競争力強化、災害時の被害軽減・経済活動存続



## ●高知県のキャンペーン「高知家」への協力

高知県が発表した「高知家」キャンペーンへの協力を宣言しました。このキャンペーンは、「笑顔」「幸せ」「安全・安心」「癒し」「親近感」などの温かい「家族」のイメージを全国にお伝えすることで、高知県の認知度を高め、県産品の地産外商から観光の振興、そして移住の促進へとつなげていくことを目的としています。

当行は、今後も高知県と連携し、地域のお客さまのお役に立ち、地域の発展に貢献してまいります。

～平成25年7月 高知県と共同記者会見を開催しました～



野村頭取「高知家」協力宣言



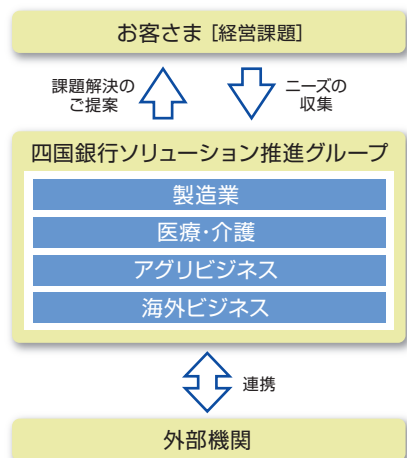
尾崎知事より移住支援特使委嘱

## ●創業・新事業への取組み

地場産業の支援やお客さまの業績向上を側面的に支援するため、お客さまサポート部に「ソリューション推進グループ」を設置しています。事業承継、M&Aの仲介、製造業、医療・介護、アグリビジネス、海外ビジネス等に関するお客さまからの経営相談に対し、外部専門機関と連携しサポートに取り組んでいます。また、事業承継や医療・介護など各種セミナーの開催により、お客さまの業務に活かすことのできる情報発信を行っています。



## ■当行の地域密着型金融 推進体制



## ●海外進出支援への取組み

### ①高知県との連携強化～日中ものづくり商談会@上海2013へ参加～

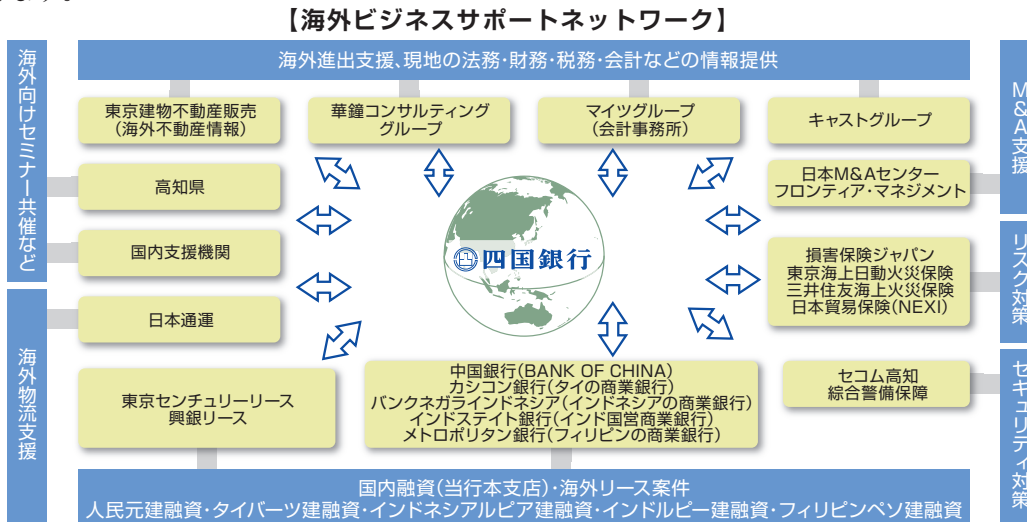
平成25年9月、今回で16回目の開催となる地方銀行・自治体など41団体合同での「日中ものづくり商談会」に高知県と連携し参加しました。今年の商談会には取引先企業5社(内、県内企業4社)が参加し、中国での販路拡大、部品調達など中国企業と活発な商談が行われました。



「日中ものづくり商談会@上海2013」

### ②〈四銀〉海外ビジネスサポートネットワークの強化

お客さまの海外進出をトータルサポートするため、外部機関との提携強化を図っています。直近では、フィリピンのメトロポリタン銀行(フィリピン進出支援)、日本貿易保険(海外進出・輸出時のリスク対策)、東京建物不動産販売(海外進出時の不動産情報提供など)と提携しました。今後もお客さまの海外展開を積極的にサポートしてまいります。



### ●環境保全への取組

環境問題への取組みを重要な経営課題と位置付け、本店及び本店別館においてISO14001の認証を取得のうえ、省エネ・省資源、森林保全活動や環境関連商品の開発など積極的に環境保全活動に取り組んでいます。

#### <協働の森事業への参加>

高知県、高知市と「協働の森事業」パートナーズ協定を締結、高知市鏡柿ノ又の市有林を「未来を鏡に～四銀絆の森」と名付け、高知市とともに守り育てています。

#### <絆の森交流会>

平成25年10月、地元小学校の児童や保護者、地元の方々などが参加し、第7回四銀絆の森交流会を開催、植樹や木工教室などを行いました。

#### <NPOとの協働間伐>

四銀絆の森で、行員が高知市の職員の方々で結成したNPO「こうち森林救援隊」の協力を得て間伐ボランティアを定期的に行っています。

#### <里山保全「筆山の整備」>

市民の憩いの場所である高知市筆山の公園の桜の植え替えが必要になっていたことから、森林保全活動の一環として、桜の伐採と新しい桜の植樹を行いました。



<絆の森交流会記念植樹>



<四銀絆の森での協働間伐>

### ●資産運用セミナー

将来のゆとりある生活設計に向けて、これからの資産運用のご参考にしていただくために、資産運用セミナーを開催し、資産運用の考え方や取扱商品のご案内をしています。



### ●年金相談会

地域の皆さまの年金手続きのお役にたてるよう「年金相談会」を開催しています。また、各営業店に年金アドバイザーを配置し、年金に関するお客さまのご相談にお応えしています。



### ●経営講演会

高知、徳島で経営講演会を開催しました。高知会場には外交ジャーナリスト・作家の手嶋龍一氏を、徳島会場には株式会社アオキ 代表取締役社長 青木豊彦氏をお迎えし、多数の皆さまのご聴講をいただきました。



手嶋 龍一氏



青木 豊彦氏

### ●夏休み子ども教室

平成25年8月、小学生を対象にした「夏休み子ども教室」として、お金の大切さや金融の仕組みの理解のため「お金のセミナー」を、ものづくりを担う人材の育成のため「科学教室」を開催しました。今後も、地域の将来を担う子どもたちの育成支援に取り組んでまいります。



## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (平成24年9月30日)	当中間連結会計期間 (平成25年9月30日)
	金額	金額
(資産の部)		
現金預け金	242,228	370,849
コールローン及び買入手形	957	590
買入金銭債権	9,479	10,461
商品有価証券	1,065	534
金銭の信託	2,525	2,630
有価証券	771,536	776,318
貸出金	1,533,345	1,547,377
外国為替	1,766	4,646
その他資産	10,968	9,052
有形固定資産	41,796	41,199
無形固定資産	4,918	3,721
繰延税金資産	12,297	3,661
支払承諾見返	11,262	7,690
貸倒引当金	△24,999	△24,136
<b>資産の部合計</b>	<b>2,619,148</b>	<b>2,754,596</b>

## ◆資産の部

お客さまへのご融資を示す「貸出金」や国債・株式などで運用している「有価証券」など銀行の資産の内訳を表わしています。

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (平成24年9月30日)	当中間連結会計期間 (平成25年9月30日)
	金額	金額
(負債の部)		
預金	2,342,661	2,373,311
譲渡性預金	76,721	133,699
コールマネー及び売渡手形	7,687	28,400
借入金	37,694	43,909
外国為替	4	1,148
社債	7,000	7,000
その他負債	21,228	30,654
退職給付引当金	7,120	6,758
役員退職慰労引当金	10	7
睡眠預金払戻損失引当金	1,007	1,090
ポイント引当金	25	49
再評価に係る繰延税金負債	6,498	6,425
支払承諾	11,262	7,690
<b>負債の部合計</b>	<b>2,518,923</b>	<b>2,640,146</b>
(純資産の部)		
資本金	25,000	25,000
資本剰余金	6,563	6,563
利益剰余金	49,945	55,596
自己株式	△1,367	△1,375
<b>株主資本合計</b>	<b>80,141</b>	<b>85,783</b>
その他有価証券評価差額金	7,240	15,555
繰延ヘッジ損益	△439	△361
土地再評価差額金	10,720	10,586
その他の包括利益累計額合計	17,521	25,780
新株予約権	11	56
少数株主持分	2,551	2,830
<b>純資産の部合計</b>	<b>100,224</b>	<b>114,450</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,619,148</b>	<b>2,754,596</b>

## ◆負債の部

お客さまからお預りしている「預金」をはじめ、資金の調達状況など負債の内訳を表わしています。

## ◆純資産の部

株主の皆さまからご出資いただいた資金(資本金)やこれまでに利益などから蓄えてきました剰余金などを表わしたものであり、銀行の「体力」というべきものです。

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	(自平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	(自平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
	金額	金額
経常収益	27,854	23,845
資金運用収益	17,022	16,754
(うち貸出金利息)	(12,464)	(11,762)
(うち有価証券利息配当金)	(4,379)	(4,789)
信託報酬	-	0
役務取引等収益	3,054	3,191
その他業務収益	6,384	1,706
その他経常収益	1,392	2,192
経常費用	25,108	17,423
資金調達費用	1,200	1,061
(うち預金利息)	(797)	(667)
役務取引等費用	654	678
その他業務費用	235	1,196
営業経費	13,891	13,394
その他経常費用	9,127	1,092
経常利益	2,746	6,421
特別利益	2	1
固定資産処分益	2	1
特別損失	760	189
固定資産処分損失	96	58
減損損失	663	130
税金等調整前中間純利益	1,988	6,233
法人税、住民税及び事業税	54	818
法人税等調整額	230	1,018
法人税等合計	285	1,837
少数株主損益調整前中間純利益	1,702	4,396
少数株主利益	94	175
中間純利益	1,608	4,221

◆ 経常収益

銀行が通常の業務により得た収益を表わしたもので貸出金利息、有価証券利息配当金、各種手数料などで構成されています。

◆ 経常費用

銀行が通常の業務を行ううえで支払った費用を表わしたもので、預金利息や営業経費などで構成されています。

## 中間貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

科目	前中間会計期間 (平成24年9月30日)	当中間会計期間 (平成25年9月30日)
	金額	金額
（資産の部）		
現金預け金	242,227	370,849
コールローン	957	590
買入金銭債権	9,479	10,461
商品有価証券	1,065	534
金銭の信託	2,525	2,630
有価証券	770,635	775,331
貸出金	1,532,572	1,546,728
外国為替	1,766	4,646
その他資産	10,954	9,045
その他の資産	10,954	9,045
有形固定資産	41,687	41,094
無形固定資産	4,909	3,716
繰延税金資産	11,956	3,414
支払承諾見返	11,262	7,690
貸倒引当金	△23,824	△23,193
<b>資産の部合計</b>	<b>2,618,176</b>	<b>2,753,539</b>

## ◆資産の部

お客さまへのご融資を示す「貸出金」や国債・株式などで運用している「有価証券」など銀行の資産の内訳を表わしています。

（単位：百万円）

科目	前中間会計期間 (平成24年9月30日)	当中間会計期間 (平成25年9月30日)
	金額	金額
（負債の部）		
預渡性預金	2,343,875	2,374,700
コールマネー	78,721	135,699
借入用金	7,687	28,400
外国為替	37,694	43,909
社債	4	1,148
その他の負債	7,000	7,000
未払法人税等	19,646	29,149
リース債務	72	606
資産除去債務	1,862	1,450
その他の負債	168	170
退職給付引当金	17,542	26,921
睡眠預金払戻損失引当金	7,054	6,888
ポイント引当金	1,007	1,090
再評価に係る繰延税金負債	25	49
支払承諾	6,498	6,425
負債の部合計	11,262	7,690
<b>負債の部合計</b>	<b>2,520,479</b>	<b>2,641,953</b>
（純資産の部）		
資本剰余金	25,000	25,000
資本準備金	6,563	6,563
利益剰余金	6,563	6,563
利益準備金	49,908	55,521
その他利益剰余金	15,656	15,894
別途積立金	34,251	39,626
繰越利益剰余金	25,000	30,000
自己株式	9,251	9,626
株主資本合計	△1,275	△1,284
その他有価証券評価差額金	80,195	85,800
繰延ヘッジ損益	7,209	15,505
土地再評価差額金	△439	△361
評価・換算差額等合計	10,720	10,586
新株予約権	17,490	25,729
純資産の部合計	11	56
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>97,697</b>	<b>111,586</b>
	<b>2,618,176</b>	<b>2,753,539</b>

## ◆負債の部

お客さまからお預りしている「預金」をはじめ、資金の調達状況など負債の内訳を表わしています。

## ◆純資産の部

株主の皆さまからご出資いただいた資金（資本金）やこれまでに利益などから蓄えてきました剰余金などを表わしたものであり、銀行の「体力」というべきものです。



## 中間損益計算書（単体）

（単位：百万円）

科目	前中間会計期間	当中間会計期間
	（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
	金額	金額
経常収益	27,710	23,615
資金運用収益	17,019	16,745
（うち貸出金利息）	(12,459)	(11,754)
（うち有価証券利息配当金）	(4,380)	(4,787)
信託報酬	-	0
役務取引等収益	2,920	3,061
その他業務収益	6,384	1,706
その他経常収益	1,386	2,102
経常費用	25,131	17,492
資金調達費用	1,200	1,061
（うち預金利息）	(797)	(667)
役務取引等費用	801	822
その他業務費用	234	1,196
営業経費	13,818	13,324
その他経常費用	9,075	1,086
経常利益	2,578	6,123
特別利益	2	1
特別損失	760	189
税引前中間純利益	1,820	5,935
法人税、住民税及び事業税	21	756
法人税等調整額	203	972
法人税等合計	225	1,728
中間純利益	1,595	4,206

◆ 経常収益

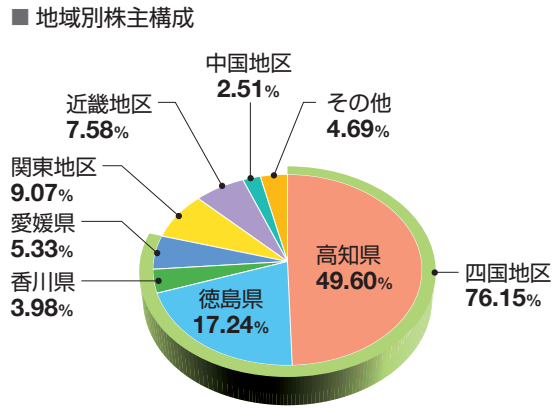
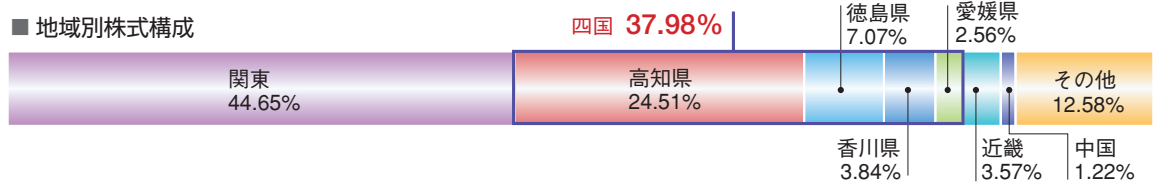
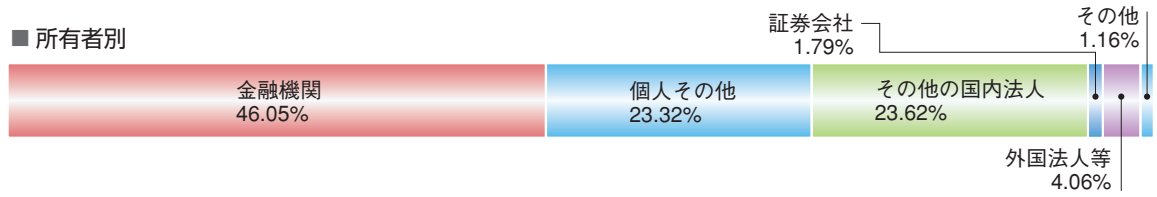
銀行が通常の業務により得た収益を表わしたもので貸出金利息、有価証券利息配当金、各種手数料などで構成されています。

◆ 経常費用

銀行が通常の業務を行ううえで支払った費用を表わしたもので、預金利息や営業経費などで構成されています。

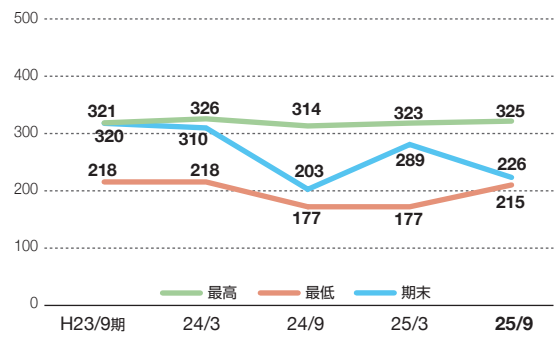
# 株式の状況 (平成25年9月30日現在)

- 株主数 9,944人
- 発行済株式の総数 218,500,000株
- 株式の分布状況 (単元未満株を含む)



## ● 株価の状況

当行の株価推移 (円) 期中における最高・最低・期末株価



## ● 株式のご案内

### ◆ 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。

### ◆ 配当のお支払

1. 期末配当は、毎年3月31日を基準日とし、定時株主総会終了後ご指定の方法によりお支払いいたします。
2. 中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とし、取締役会の決議によってご指定の方法によりお支払いいたします。

### ◆ 基準日

定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告のうえ定めます。

### ◆ 公告方法（電子公告）

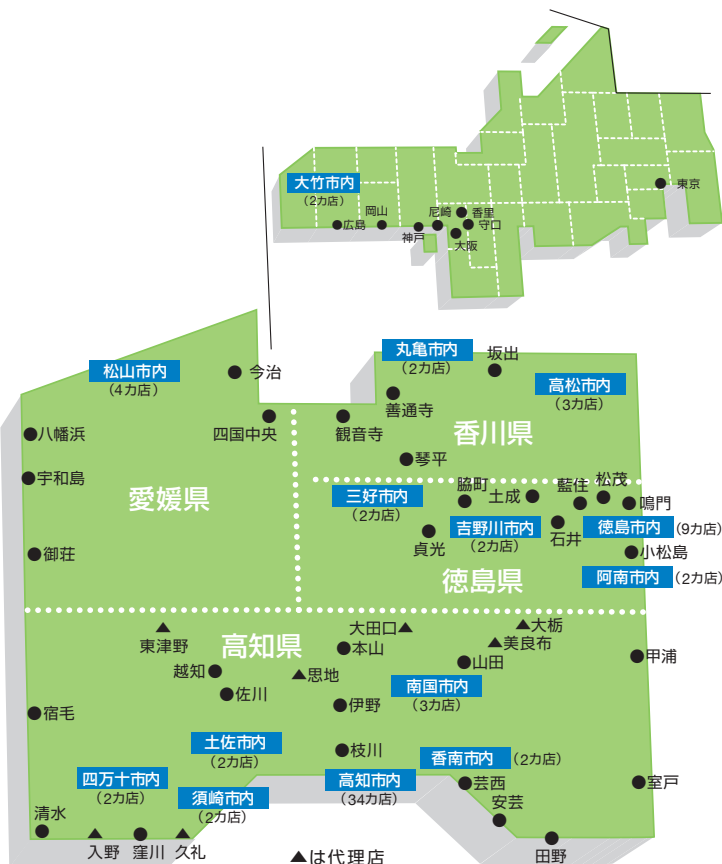
当行の公告は、ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、高知新聞および日本経済新聞に掲載いたします。

### ◆ 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続き取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でも お取扱いたします。  みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続き取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式 売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式 の振替手続を行っていただく必要があります。

## ● 当行の概要 (平成25年9月30日現在)

名称	株式会社四国銀行
英文表示	The Shikoku Bank, Ltd.
本店所在地	〒780-8605 高知市南はりまや町一丁目1番1号 TEL:088-823-2111(代表)
創業年月日	明治11年10月17日
資本金	250億円
店舗数	117店舗(代理店を含む) (高知県66店舗、徳島県23店舗、 香川県9店舗、愛媛県9店舗、 本州10店舗)
従業員数	1,505人



(平成25年9月30日現在)

## ● 通帳・キャッシュカード等紛失時連絡先

	電話受付時間	連絡先	連絡先電話
平日	08:40 ~ 17:00	各お取引店	各お取引店
	上記以外の時間帯	カード受付共同センター	☎0120-009-459
銀行休業日	24時間		



発行：平成25年11月 株式会社四国銀行 総合企画部  
〒780-8605 高知市南はりまや町一丁目1番1号 TEL:(088)823-2111  
<http://www.shikokubank.co.jp/>